



類推して業務機能を拡張する(業務参照モデル例)

製造make、調達sourcing、出荷deliver、返品returnはサービスに拡張できる

機能	英語	横拡張された意味	機能例
製造	make a product	モノを製造する	製品を製造する、部品を製造する
	make a product right	製品を修理する	製品を修理する、保守点検する
	remake an old house	改造する、サイズ直しをする	古い家をレストランに改造[改築]する
	make a diagnosis	人にサービスを提供する	診察する、診断する
	make a money	資金を作りだす、稼ぐ	
調達	sourcing a product	モノを調達する	資材・部品・商品を、設備を調達する、輸入調達する
	sourcing a repair service	サービスを調達する	修理サービスを受ける
	sourcing	資源利用する	M&A案件を探す、投資案件を探す、
	out-sourcing	アウトソースする	自社から外部へ業務を委託する
出荷	deliver a product	モノを出荷・引渡す	商品を出荷・届ける、据付・引渡す、輸出する
	deliver a consistent service	一貫サービスを提供する	据付から修理サービス、ファイナンス、保険まで
	deliver a person from danger	人を危険から救出する	危険、囚われの身から解放する
	stand and deliver!	金を出せ	
返品	return a product	モノを返品する、返品を受ける	商品を返品する、資材を返品(返却)する、引取る
	return thanks	謝辞を述べる	
	return to work	人が仕事に復帰する	
	return profit	利益をもたらす	利益を生む
梱包	pack Product	⇒C40-20-11に3種類	

All Rights Reserved, Copyright© process-design-engineering, Inc

1

業務参照モデルにおける「業務機能」を抽象化して捉えて、英語の動詞として捉えると、その意味が大きく広がる「類推による横拡張」の例を示したもの。これによって、業務参照モデルを様々な業界と業種に適用できるようになる。

業務参照モデルは日本語で、製造、調達、出荷、返品という機能で説明している。これを英語では、それぞれmake、sourcing、deliver、returnとなる。日本語の長所であり欠点でもあるが、その具体性が意味を狭めてしまう。

業務参照モデルの業務機能を英語にすると、その意味は大幅に広がり、製造業だけでなく、対物サービス業、対人サービス業、金融業の業種にも適用できるようになる。